

ZEH（ゼッチ）マンションに向けた野村不動産の取り組み

野村不動産グループは、先進環境技術や情報通信技術の導入、自然との共生によるパッシブデザインや創エネルギーなど、事業を通じた環境負荷低減に努めております。

これまでも先導モデル事業など、環境に対する先進的な取り組みを進めてきましたが、総合的な環境負荷低減の観点からも、集合住宅におけるZEH対応についても段階的に取り組み、普及に努めてまいりたいと考えております。

まずは、年間1～2物件程度、「ZEH-M Oriented」の導入に取り組み、実証事業を通じて環境性能や快適性の調査を実施いたします。

さらに、中長期では、高性能サッシや高効率熱源などの技術の進化や、お客様メリットを見極めたうえで段階的に採用を広げていく方針です。

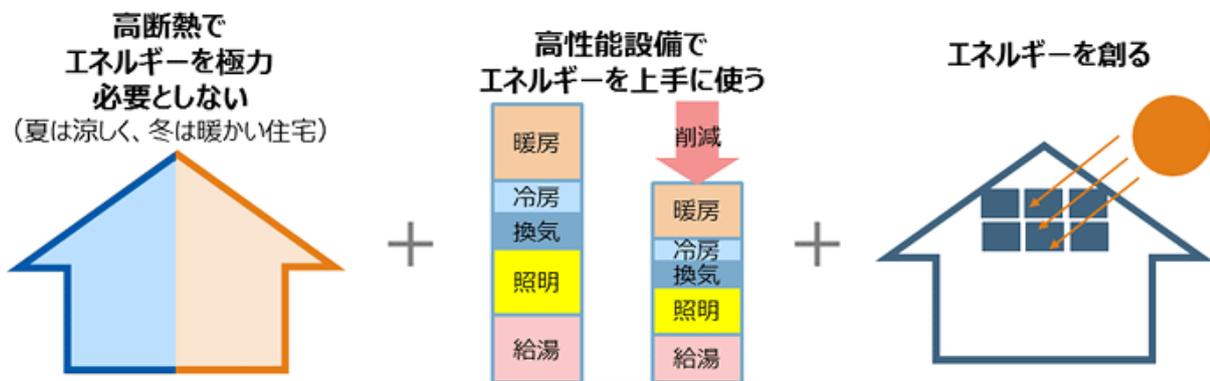
当社の環境への取り組み（CSRレポート）

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/csr/environment/>

《参考資料》

1. ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」です。



○資源エネルギー庁ホームページ

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/zeh/

2. ZEH-M orientedとは

高層（6階建以上）マンションでは、太陽光発電の設置に活用できる屋根面積が限られており、ZEHの基準をクリアすることは非常に困難です。

そこで、まずは、ZEH志向型の集合住宅の普及に向け、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の搭載などの創エネをのぞく、高断熱外皮や省エネ性能でZEH基準を満たした住宅について、2018年度よりあらたに定められた制度が「ZEH-M oriented」になります。